

北海道に貢献する意欲のある若者の海外挑戦を官民一体で応援する「ほっかいどう未来チャレンジ基金」の旬な情報をお届けします！

○令和6年度みらチャレ（第7期生）の募集を開始します！

4月1日（月）から令和6年度（第7期生）の募集を開始します。今年度の募集より、学生留学コースは短期派遣（28日以上3か月未満）も対象になっております。詳細はホームページをご覧ください。

主な応募要件

募集ページはコチラ⇒



- 4月1日現在で、18～39歳の方（学生留学コースは30歳まで）
- 道内市町村に住民登録がある方（学生留学コースは道内の大学等に在籍している方）
- 留学先における受入機関が確保できる方
- 帰国後3年間は北海道に居住できる方（学生留学コースを除く）

応募期間

学生留学コース：所属大学等により異なりますので大学の担当課に確認してください
その他3コース：4月1日～5月10日

主な支援内容

滞在費（定額）：12万円 or 16万円／月（派遣先地域により異なる）
往復渡航費（定額）：10万円 or 20万円（派遣先地域により異なる）
授業料、研修費等：上限30万円

○海外留学セミナー2024（留学生帰国報告会）を開催しました。

2月14日（水曜日）、令和6年度（7期生）の募集に向け、みらチャレを活用して海外留学をした令和4年度留学生（第4・5期生）の帰国報告会を兼ねた「海外留学セミナー2024」を開催しました。

今回は、オンラインとリアル会場でのハイブリッド形式での開催とし、応援パートナーや大学関係者、留学に関心のある学生の皆様など約60名にご参加いただきました。

令和4年度留学生6名による留学体験談の発表では、現地での研修内容や異なる文化・習慣を体験できたことのほか、言葉が通じない中でコミュニケーションをとる苦労などを実体験として語っていただきました。

なお、留学体験談については以下のURLでアーカイブを配信中です。是非ご覧ください。

みらチャレHP (<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/tsk/182268.html>)



○日糧製パン様との連携企画「ほっかいどうの未来にラブを贈ろう」が実施されました。

日糧製パン（株）様のご協力により、主力商品「ラブラブサンド」シリーズ全品の販売1個につき、1円を「ほっかいどう未来チャレンジ基金」にご寄付いただく取組を実施いただきました。

【実施期間 令和6年1月1日（月）～令和6年2月29日（木）】



○留学生（第6期生）たちの活動状況

学生留学コース

高橋 茉倫さん 【留学先】カナダ 【留学期間】2023年9月～2024年6月（10か月間）

多民族国家カナダで、英語が母国語ではない人への英語の教授法を学ぶ

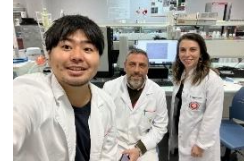
2月は移民の方々に英語のボランティアレッスンをしました。英語の授業は初めての経験で難しさもありましたが、先生や仲間のフィードバックのおかげで、授業の改善点や教授法など多くのことを学びました。今後も周囲の方々との関わりを大切にし、学びを得ていきたいと思っています。



梶谷 賢太さん 【留学先】スペイン 【留学期間】2023年10月～2024年3月（6か月間）

歯科医療の発展に向けて、歯科診療のDX化と新規歯科材料の研究・開発を学ぶ

バレンシアは2月になってすっかり暑くなりました。スペインの生活にもだいぶ慣れ、スペイン料理もいろいろ食べました。研究も順調に進んでいます。3月に帰国する予定なので、現在は終わっていない実験を行うのに追われています。残り1か月も全力で頑張ります。



スポーツコース

狩野 亮さん 【留学先】オランダ 【留学期間】2023年9月～2023年11月（3か月間）※帰国済

豊かな社会の実現に向け、オランダの社会福祉、パラスポーツ環境を学ぶ

視察したWheelchair Skills Teamの指導者育成活動に大きな刺激を受けました。指導者を増やし、活動を広げていくことで、これまで以上に社会に影響を及ぼすことができると感じました。今後はこのような好循環を北海道から全国へ届けることができるよう活動していきたいです。



佐藤 弘也さん 【留学先】カナダ 【留学期間】2023年11月～2024年5月（7か月間）

パラスポーツの発展に向け、車いすカーリングの育成・強化方法及びシステムを学ぶ

2月は、車いすカーリングカナダ代表の合宿に参加しました。特に、合宿中の選手と理学療法士のコミュニケーションや理学療法士の手技、関わり方などを見ることができ、自分の今後の活動にとって最も収穫の大きい経験となりました。



佐藤 優さん 【留学先】ニュージーランド 【留学期間】2024年1月～2024年9月（9か月間）

北海道のラグビーの発展に向け、コーチングやチームマネジメントを学ぶ

2月に入り、語学学校での研修とクラブチームでのラグビーの活動が始まりました。所属するクラブでは、出産後、競技に復帰し子供と一緒にグラウンドへ来る選手もいるなど、ラグビーが生活の一部になっており、日本とは捉え方がまた違うと感じました。



文化芸術コース

荒川 真央さん 【留学先】ドイツ 【留学期間】2023年9月～2024年8月（12か月間）

作曲家M・レガーの研究と演奏技術の向上を図り、若手音楽家の活動基盤づくりに貢献する

2月は、M・レガーの作品に関して、友人達などの感想を聞いてみました。私自身、難解で退屈を感じる曲でも、「その難解さが面白い」との意見を聞いたとき、音楽に対する経験値の違いを感じました。クラシックの発展には奏者の育成と聴く側の耳を育てることの重要性を再認識しました。



小林 大賀さん 【留学先】メキシコ 【留学期間】2023年9月～2024年6月（10か月間）

メキシコの精神文化、芸術を学び、作品制作を通じて北海道の文化総合の発展に貢献する

2月は、現地の工房や遺跡の撮影・取材を行うとともに、メキシコのウィチョール族の巡礼などを取材しました。コミュニティに滞在し、伝統儀式や語学学校を撮影取材したり、シャーマンであるホセ・ルイス氏へインタビューを行いました。



田坂 佳那さん 【留学先】オーストリア 【留学期間】2023年10月～2024年9月（12か月間）

北海道の文化芸術に貢献するため、室内楽・伴奏の専門技術・知識を学ぶ

2月から夏ゼミスターが始まりました。まずブラームスのクラリネットとピアノのためのソナタに取り組みははじめました。レッスンでは、これまで取り組む機会のなかった曲を勉強できるので、レパートリーにしたい曲や理解を深めたい曲を厳選して取り組んでいきたいと思っています。

